

《校訓》鏡の如く透徹した理想と自覚をもった生徒

【学校教育目標】

一人一人の笑顔があふれ、互いに認め支え合い、
安心して共に伸びゆく生徒の育成

鏡魂

〈三綱領〉
「鍛錬」
「端正」
「協働」

八代市立鏡中学校だより 令和8年4月27日発行 第1号 発行責任者 一司 和穂

互いに認め支え合い、安心して笑顔で共に伸びゆく生徒があふれる学校をめざして!

4月9日(木)に入学式を挙行し、多くの保護者と来賓の方々のご臨席のもと、無事に123名の新入生を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。これで、全校生徒392名と全職員46名が揃い、令和8年度八代市立鏡中学校が力強くスタートしました。

始業式や入学式で、校訓と学校教育目標についてお話ししました概要についてお伝えします。

《校訓》「鏡の如く透徹した理想と自覚をもった生徒」

本校が旧八代郡鏡町に唯一の統合中学校として誕生して以来五十六年間受け継がれてきた生徒の姿です。

- 〈三綱領〉
- 「鍛錬」：心と体を鍛え、進んで知性を磨く生徒
 - 「端正」：時を守り、場を清め、礼を正す生徒
 - 「協働」：互いを尊重し、自ら汗して働く生徒



左：新入生代表「誓いの言葉」を述べる柴田芽依さん
右：在校生代表「歓迎の言葉」を述べる園田晃崇さん

【学校教育目標】「一人一人の笑顔があふれ、互いに認め支え合い、安心して笑顔で共に伸びゆく生徒の育成」

これまで鏡中学校の先輩方は、生徒会を中心に、体育大会や文化祭、駅伝・持久走大会などの行事に主体的に取り組むことをはじめ、日々の学校生活の中でお互いの頑張りやよさを認め合い、様々な困難やトラブルにも互いに励まし、支え合いながら乗り越え、満足感に満ちた輝く笑顔をたくさん見せてきました。そんな仲間たちだからこそ、安心して学び、共に力を高め合いながら、この鏡中学校を更によりよい学校にしていこうと励んでいます。

これからも、笑顔を互いにたくさん見せ合えるよう、「互いのよさや成長を共に認め合い喜びを分かち合うことを心がける」ことを意識して生活しましょう。中学校三年間は心も体も大きく成長し、その成長の幅やスピードは人それぞれです。心が成長することで、それまで気づかなかった仲間のよさや特長に気づくようになります。一方で、自我に目覚めて自分を客観的に視る力がつき、他の仲間と意味のない比較をして落ち込むことも多くなります。

そこで、仲間の悲しさや悔しさを自分のことのように感じて寄り添う感性を一人一人がもち、互いのよさや成長に気づき、認め、褒め、励まし合うことを通して、よりよい信頼関係を築くことができます。信頼関係が強まると、一人一人が鏡中に自分の居場所を感じ、安心して個性や能力を発揮できるようになります。こうして一人一人の出番と活躍の場が広がることで、自己肯定感や自己有用感が高まり、学校に輝く笑顔があふれるようになります。

そして、15歳の春を迎えた時、一人一人が「鏡中生でよかった、鏡中でみんなと学べてよかった」と感じ、地域や保護者の方々、先生方から温かく見送っていただけるよう、互いに認め支え合い、安心して笑顔で共に伸びゆく生徒があふれる鏡中学校にしていきたいと思います。

子供たちが安心して笑顔で過ごし、互いに認め励まし合いながら共に伸びていけるよう、全職員でお手伝いしていきますので、昨年度に引き続き、今年度も保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。